**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　4　回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和３年　10月　30日　　１０時００分　～　１２時００分 |
| 会場 | 花乃苑　本部 |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | 人 |
| 有識者 | １人 |
| 事業者 | 7人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項議題① | 1. 現状報告

**新型コロナウィルス感染症による感染予防のため、花乃苑グループの３施設の苑長・副苑長が出席し会議を行った。また、有識者としてコンサルタントの方にも出席をお願いした。**２．入居者数　　男性3名　女性15名　　合計１８名　(10/30現在)　《要介護別》　要介護１（3名）要介護２（8名）要介護３（6名）　　　　　　　　要介護４（1名）要介護５（0名）　３．入・退居者　(R3.8/31～R3.10/30)　　　　　　　　なし４．活動内容　　お誕生会　敬老会　園芸（花苗植え）　　　　　　　　散歩**「身体拘束等適正化対策検討委員会」**現在、身体拘束に該当なし。身体拘束に発展しそうな不適切なケアはないか検討する。〈検討内容〉　重度認知症の利用者A様の転倒が続いている。下肢筋力に低下がみられ、一人で立ち上がり歩こうとされ転倒。排泄の声掛けや誘導も適時行っているが、ご本人には何か目的があり動かれている様子。３週間以内に２回転倒されている。幸いにも大事には至らず軽い打撲程度で済んでいるが、高齢女性のため骨折のリスクも高い。身体拘束を行わず転倒を防止する対策を検討。〈検討結果〉　身体の動きを抑制するような対策は身体拘束に該当するため行わないということを前提に話し合った結果、いくつかの意見が出た。・スタッフは、A様が落ち着かず転倒の危険がある場合は見守りを強化し、物音に気付ける範囲内で業務を行う。・居心地よく過ごしていただけるよう、環境面（室温、音等）に配慮する。・トイレ、口喝、空腹はないか等、ご本人の欲求を探り対応する。　職員間で情報を共有し、ご本人のストレスになる不適切なケアを行わないよう注意する。また、ご家族にも状況を報告する。 |
| 議　題② | **「コロナ予防対策の緩和」**　現在、県内は勿論のこと全国的にコロナ感染者が減少し、規制緩和が進んでいる。　花乃苑では感染対策を取りながら、ご家族との対面での面会を再開することとした。また、外出行事を取り入れ、ボランティアの受け入れや地域との交流についても徐々に回復していきたい。 |
| その他 | １１月にインフルエンザ予防接種を予定。 |